

第6学年 社会科学習指導案

児童 男子19名 女子15名 計34名
指導者 飯野 智 健

1 単元名 戦争から平和へ（教育出版上）

1 戦争と人々の暮らし

2 単元について

(1) 児童について

児童は、歴史の最初の単元「大昔の暮らし」の学習において、朝活動の時間、三内丸山遺跡についての新聞記事をスクラップし、要約、感想を書いたノートを活用し、調べ学習を行った。その結果、歴史の学習に興味をもつ児童が増え、歴史に関する本を進んで読み、教科書に書いている以上の知識を身に付けたり、家庭学習で歴史に関する内容を調べてノートにまとめたり、他の教科のときよりも積極的に手を挙げて発言しようとしたりする児童が見られるようになった。学習後、修学旅行で三内丸山遺跡を見学した際も、身に付けた知識を実際に確認することができ、大変有意義な修学旅行になった。

その後、新聞を活用した社会科の学習は行っていない。教科書や資料集を主な資料として調べる活動が中心となっている。調べ学習を行う際に、自分たちで調べる項目を設定するのではなく、教師が調べる項目を細かく示してきた。その結果、教科書や資料集から必要な部分だけを選び、ノートに書く力は身に付いてきている。

ただ、物事を深く考える点では、課題が残る。社会科のみならず、他の教科においても、単純に答えを求める発問に対しては、ある程度手が挙がるものの、考え方や理由を問う発問になると、特定の児童に頼ろうとする傾向がある。また、3月11日に起きた東日本大震災後、自分たちの生活が元に戻ると、震災に関する関心が薄くなり、いまだに不自由な暮らしを強いられている人々が数多くいること、命の大切さ、当たり前前の方が当たり前前のできることの幸せについて忘れてしまっている児童が見られる。

(2) 教材について

本単元は、学習指導要領第6学年の目標（1）「国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるようにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情を育てるようにする」と（3）「社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味を広い視野から考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする」及び、内容（1）ケ「日華事変、我が国にかかわる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピックの開催などについて調べ、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること」を受けて設定したものである。

本単元では、15年にわたる戦争の経過や戦争中の国民生活について調べ、我が国と中国との戦争が全面化し戦時体制に移行したこと、アジア・太平洋地域において連合国と戦い、敗北したこと、日本各地への空襲、沖縄戦、広島・長崎への原爆投下など、国民が大きな被害を受けたこと、また、これらの戦争において、我が国は、中国をはじめとする諸国に大きな損害を与えたことが分かるようにすることをねらいとしている。

(3) 指導にあたって

調べ学習については、日本と中国の戦争がなぜ始まり、どのようにしてアジア・太平洋地域での戦争へと拡大していったのか、また、東京大空襲、沖縄戦、広島・長崎への原爆投下による被害の状況については、教科書、資料集、学校図書館の図書資料を使って調べさせ、15年にわたる戦争の流れや具体的な被害の数値などをとらえさせたい。

ただ、教科書や資料集には、戦争の体験談がほとんど載っていないため、戦争の悲惨さ、むごさを学習するには不十分である。そこで、二つの方法で戦争のエピソードや体験談について調べさせたい。

一つめは、北上市平和記念展示館に行き、展示物を見たり、館長さんの話を聞いたりすることである。この活動により、戦争は、沖縄や東京、広島や長崎の人々だけではなく、自分達の住んでいる北上市でも大きな被害を受けた事実気付かせたい。

二つめは、東京大空襲や広島・長崎への原爆投下についての体験談が書いてある新聞記事の活用である。戦後66年が経過し、戦争体験者の高齢化も進んでいる。最近になって、ようやく戦争の体験を話すようになった方々も多くいて、昨年、今年の新報の中にも戦争の体験を取材した記事が数多くある。それらの新聞記事を朝活動の時間にスクラップして、要約、感想を書く活動を行ったり、授業中に新聞記事を紹介したりすることにより、戦争の悲惨さ、むごさ、戦争を体験した人々の思いについて気付かせていきたい。

そしてこの2つの調べ学習を通して、児童が、戦争による犠牲者を二度と出してはいけないという考えを強くもてるようにしていきたい。

また、戦争を体験した人々の思いを考えるだけではなく、これほどの被害を出した戦争を国民はやめさせることができなかつたのかという視点でも考えさせたい。その際、当時の新聞記事を提示し、正しい情報が国民に伝えられなかつた状況だったことをとらえさせながら、マスメディアが与える影響についても考えさせていきたい。

なお、平和について、自分の考えを書いて伝える活動や、広島原爆ドームがなぜ世界遺産に登録されたかということについては、国語科の単元『『平和』について考える』及び、資料「平和のとりでを築く」の中でも取り上げられているので、関連を図りながら指導していきたい。

3 単元の目標と評価規準

観 点	単 元 の 目 標	単 元 の 評 価 規 準
社会的事象への 関心・意欲・態度	○戦争の経緯や様子、それが国内外の人々に及ぼした影響について関心をもち、意欲的に調べ、考えようとしている。	○戦争の経緯や様子、それが国内外の人々に及ぼした影響について関心をもち、意欲的に調べ、考えようとしている。
社会的な 思考・判断・表現	○戦争の経緯や国内外に及ぼした影響について、学習問題を見いだして追究し、平和の大切さについて考え、適切に表現できる。	○戦争の経緯や国内外に及ぼした影響について、学習問題を見いだして追究し、平和の大切さについて考え、適切に表現している。
観察・資料活用の技能	○戦争の経緯や国内外に及ぼした影響について、教科書や資料集、学校図書館にある図書資料、新聞などを活用して調べ、具体的事実やエピソードをまとめることができる。	○戦争の経緯や国内外に及ぼした影響について、教科書や資料集、学校図書館にある図書資料、新聞などを活用して調べ、具体的事実やエピソードをまとめている。
社会的事象についての 知識・理解	○アジア・太平洋に広がって行われた戦争について、戦争拡大の経緯や国民生活の様子、国内外の被害について理解している。	○アジア・太平洋に広がって行われた戦争について、戦争拡大の経緯や国民生活の様子、国内外の被害について理解している。

4 単元の指導計画と評価規準（全6時間）

時間	学習活動	観 点			
		社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
1	・日本と中国との戦争がどのように始まり、展開していったのかを調べながら、国内外の動きや人々の暮らしの変化について学習問題を設定する。	・資料を読み取り、分かったことから、学習問題を考えようとしている。(発言)	・戦争による国内外の動きや人々に暮らしの変化について、学習問題や予想を考え、表現している。(ノート)		
2	・中国との戦争がその後アジア・太平洋の各地へ広がっていったことについて、その経緯や背景、影響を調べる。			・教科書や資料を活用して、日中戦争の広がりについての情報を集めて読み取り、ノートに整理している。(ノート)	
3	・戦争中の人々の暮らしの様子を調べ、社会や暮らしがどのように変化したのかについて、考えを深める。	・戦争中の人々の暮らしの様子に関心をもち、調べようとしている。(ノート・発言)		・教科書や資料を活用して、戦時中の人々の暮らしについての情報を集めて読み取り、ノートに整理している。(ノート)	
4	・戦争中の子供たちの暮らしの様子を調べ、子どもと戦争の関係について考えを深める。		・戦争が子供たちの暮らしに与えた影響について考えている。(ノート・発言)		
5	・空襲の広がりや、沖縄戦、それを今に伝える各地の遺跡を調べて、戦争によって国民が受けた被害の大きさを考える。	・空襲や沖縄戦の被害の様子について、進んで調べようとしている。(ワークシート・発言)			・空襲や沖縄戦によって国民が受けた被害の大きさについて理解している。(ワークシート)
6 (本時)	・広島・長崎への原爆投下、敗戦に至る経緯を調べ、戦争で人々が受けた被害の大きさに気づき、戦争に対する考えを深める。		・原爆を体験した人々の願いについて考えている。(ワークシート・発言)		・原爆の威力や人々が受けた被害の大きさについて理解している。(ワークシート)

5 本時の指導（6 / 6時）

(1) 目標

- 原爆を体験した人々の願いについて考えることができる。
(社会的な思考・判断・表現)
- 原爆の威力や人々が受けた被害の大きさについて理解することができる。
(社会的な事象についての知識・理解)

(2) 評価の観点と具体的評価規準

評価規準	十分満足	概ね満足	指導の手立て
原爆を体験した人々の願いについて考えている。 (社会的な思考・判断・表現)	原爆を体験した人々の願いについて、原爆の威力、被害の様子、体験談を関連させながら考え、表現している。	原爆を体験した人々の願いについて、原爆の威力、被害の様子、体験談などをもとにして考え、表現している。	原爆を体験した人々の体験談から、悲惨な体験をした事実を読み取らせ、何を願っているか考えさせる。
原爆の威力や人々が受けた被害の大きさについて理解している。 (社会的な事象についての知識・理解)	広島・長崎に投下された原爆により、多くの人々が亡くなり、現在も後遺症で苦しんでいる人々がいることを各種資料や映像を関連させ、実感をもって理解している。	広島・長崎に投下された原爆により、多くの人々が亡くなり、現在も後遺症で苦しんでいる人々がいることを理解している。	被害の具体的数値を教科書や資料集で調べさせた上で、被爆者が後遺症で苦しんでいる事実を新聞記事や再現映像からとらえさせる。

(3) 本時の展開

段階	学 習 活 動 発問及び指示 (○) 児童の反応 (・)	評価・留意事項 評価 (※) 留意事項 (・)
導 入 3 分	<p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>2 本時の学習問題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>原爆による被害の様子について調べ、原爆を体験した人々の願いについて考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・東京大空襲と沖縄戦の被害の状況について想起する。
展 開 29 分	<p>3 原爆の被害の様子について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 原爆の被害の様子について、「投下された場所」、「年月日」、「亡くなった人の数」、「その他」に分けて、教科書や資料集から調べましょう。 ・投下された場所…広島・長崎 ・年月日… 1945（昭和 20）年 8 月 6 日（広島） 8 月 9 日（長崎） ・死者… 20 万人（広島）14 万人（長崎） ・その他…熱線と爆風で人々は体を焼かれた。 現在も、後遺症に苦しむ人々がたくさんいる。 <p>4 原爆が投下されたときの再現映像を見せる。</p> <p>5 スクラップした新聞記事を振り返り、感想を児童に発表させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調べる項目ごとに記入できるワークシートを用意する。 ・死者の数についての資料が、被爆 5 年以内となっているのは、放射能による後遺症で亡くなる人がいるということに気付かせたい。 ・映像から、街が一瞬にして破壊されたことを理解させたい。 ・体験談を振り返ることにより、原爆の悲惨さを想起させるとともに、原爆の悲惨さに気付いた児童の感想を発表させることにより、他の児童の考えを深めるきっかけにしたい。 ※原爆の威力や人々が受けた被害の大きさについて理解することができたか。（ワークシート）

	<p>6 核不拡散条約再検討会議で演説した谷口さんの新聞記事を紹介し、演説をした理由を考える。</p> <p>○ どんな思いをもって、谷口さんは、この会議で演説をしたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう原爆を使ってほしくない。 ・原爆を使っても何もいいことはない。 ・自分と同じような目にあう人を増やしたくない。 	<p>※原爆を体験した人々の願いについて考えることができたか。 (ワークシート・発言)</p>
<p>終 末 13 分</p>	<p>7 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>原爆は、広島と長崎で、多くの人々の命をうばい、今でも後遺症に苦しんでいる人々がいる。 原爆を体験した人々は、自らが体験した恐ろしい原爆が再び使われ、新たな犠牲者を出してほしくないという願いをもって生きている。</p> </div> <p>8 国民が戦争を止めることができなかつたか考える。</p> <p>○ 多くの人々の命や生活を奪った戦争を、国民は止めることができなかつたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反対したら殺される。 ・戦争は正しいと教わっていた。 ・勝っていると信じていた。 <p>9 次時の学習を知る。</p>	<p>・本時の授業で分かったことや考えたことをもとにして、個々の児童にまとめを考えさせ、書かせる。</p> <p>・戦時中の新聞記事を紹介し、正しい情報が国民に伝えられなかつた状況だったことをとらえさせたい。</p>

(4) 板書計画

<p>課題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>原爆による被害の様子について調べ、原爆を体験した人々の願いについて考えよう。</p> </div>	<p>まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>原爆は、広島と長崎で、多くの人々の命をうばい、今でも後遺症に苦しんでいる人々がいる。 原爆を体験した人々は、自らが体験した恐ろしい原爆が再び使われ、新たな犠牲者を出してほしくないという願いをもって生きている。</p> </div>												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">投下された場所</td> <td style="width: 30%;">広島</td> <td style="width: 30%;">長崎</td> </tr> <tr> <td>年月日</td> <td>1945(昭和20)年 8月6日</td> <td>1945(昭和20)年 8月9日</td> </tr> <tr> <td>死者</td> <td>20万人</td> <td>14万人</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> ・熱線と爆風で人々は体を焼かれた。 ・現在でも、後遺症に苦しむ人々がたくさんいる。 </td> </tr> </table>	投下された場所	広島	長崎	年月日	1945(昭和20)年 8月6日	1945(昭和20)年 8月9日	死者	20万人	14万人	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・熱線と爆風で人々は体を焼かれた。 ・現在でも、後遺症に苦しむ人々がたくさんいる。 		<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: 10px auto; text-align: center; line-height: 80px;"> <p>原爆ドームの写真</p> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: 10px auto; text-align: center; line-height: 80px;"> <p>谷口さんの写真</p> </div>
投下された場所	広島	長崎											
年月日	1945(昭和20)年 8月6日	1945(昭和20)年 8月9日											
死者	20万人	14万人											
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・熱線と爆風で人々は体を焼かれた。 ・現在でも、後遺症に苦しむ人々がたくさんいる。 												